

徳之島に所在する国有林の自然特性等について(1/3)

区 分	天城町	徳之島町	伊仙町
国有林の面積	1729.65ha	1484.53ha	507.29ha
国有林の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳(533m)、三方通岳(496m。さそんつじだけ)、大城山(329m)、馬鞍岳(210m)周辺にまとまって所在(234~237林班, 415.27ha) ・井之川岳(645m)、剥岳(382m。はげだけ)、丹発山(446m。たんぱつやま)、犬田布山(417m。いぬたぶやま)周辺にまとまって所在(241~249林班, 1034.47ha) ・秋利神川(あきりがみがわ)中流域及びその支流にまとまって所在(238・261林班, 279.91ha) 	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳、三方通岳周辺にまとまって所在(231~233林班, 407.87ha) ・井之川岳周辺にまとまって所在(239・240、257~260林班, 587.41ha) ・犬田布山周辺にまとまって所在(254~256林班, 266.14ha) 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬田布岳の南側周辺にまとまって所在(250・251林班, 271.66ha) ・町の中央部(面縄周辺)にまとまって所在(252・253林班, 235.63ha)
主な山岳と標高300m以上の箇所並びに主な河川	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳、三方通岳、大城山と連なる稜線付近が標高300~500mに位置 ・井之川岳、剥岳と連なる稜線付近が標高300~600mに位置し、丹発山、犬田布山付近が標高300~400mに位置 ・美名田山(438m。みなだやま)が標高300~400mに位置。秋利神川が261林班のほぼ中央を流れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳、三方通岳と連なる稜線付近が標高300~500mに位置 ・井之川岳からのびる稜線付近が標高300~600mに位置 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬田布岳の南側の稜線付近が標高300~400mに位置 ・国有林は面縄川(おもなわがわ)の上流部に位置
林種	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳、三方通岳、大城山周辺は大半が天然林(370.78ha)で、人工林は(44.49ha)と少ない ・井之川岳、剥岳、丹発山、犬田布山周辺のうち、三京林道及び同支線周辺(241・242林班)は人工林(リュウキュウマツ等, 237.88ha)が多く、それ以外は天然林 ・秋利神川中流域及びその支流周辺は、本流左岸に農耕用貸付地(261林班の一部, 43.41ha)がある以外は天然林 	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳周辺は大半が天然林(354.46ha)。三方通岳周辺のうち、稜線付近は天然林で、それ以外はリュウキュウマツ等の人工林(53.41ha) ・井之川岳周辺は大半が天然林(775.34ha)で、239林班の標高200m以下にリュウキュウマツの人工林(78.21ha)が所在 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬田布岳南側、面縄周辺は天然林(383.29ha)が多く、リュウキュウマツの人工林も124.00haと比較的多い
林齢	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳、大城山周辺は高齢天然林が多く、三方通岳、馬鞍岳周辺は30~40年生の二次林が多い ・井之川岳、剥岳、丹発山、犬田布山周辺のうち、三京林道及び同支線周辺は40年生前後のリュウキュウマツの人工林が多く、井之川岳からのびる稜線付近、丹発山の西側斜面(三京岳林木遺産資源保存林, 98.52ha)及び周辺の沢沿いや尾根部等、犬田布岳周辺は、概ね120年生以上の高齢天然林。それら以外は30~60年生の二次林が多い ・秋利神川中流域及びその支流周辺のうち、美名田山周辺は70~120年生の高齢天然林が多く、それ以外は60~70年生の二次林が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳、三方通岳周辺のうち、天城岳の北側斜面(231林班)と稜線付近、三方通岳の稜線付近は概ね90年生以上の高齢天然林が多く、それら以外は20年生前後の二次林(232林班の一部)、50~60年生の人工林(233林班の一部)が多い ・井之川岳周辺は概ね80年生以上の高齢天然林が多く、239林班には40~60年生のリュウキュウマツの人工林が所在。それら以外は30年生前後の二次林が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・犬田布岳南側は、稜線から斜面の中腹にかけて50~100年生の二次林と高齢天然林が多く、それら以外は30~50年生のリュウキュウマツの人工林が多い ・面縄周辺は、50~60年生の二次林、概ね100年生以上の高齢天然林が多い
主な現存植生	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳、三方通岳、大城山周辺の大半はリュウキュウアオイ-スダジイ群集で、天城岳、三方通岳と連なる稜線付近はアマミテンナンショウ-スダジイ群集 ・井之川岳、剥岳、丹発山、犬田布山周辺のうち、三京林道及び同支線周辺はリュウキュウマツ群落、丹発山の西側斜面及び周辺の沢沿いや尾根部等はオキナワウラジロガシ群集、井之川岳、剥岳と連なる稜線付近はアマミテンナンショウ-スダジイ群集、それら以外はリュウキュウアオイ-スダジイ群集等 	<ul style="list-style-type: none"> ・天城岳、三方通岳周辺の大半はリュウキュウアオイ-スダジイ群集、稜線付近はアマミテンナンショウ-スダジイ群集、それら以外にシイ-カシ萌芽林、リュウキュウマツ群落が存在 ・井之川岳周辺の大半はリュウキュウアオイ-スダジイ群集、稜線付近はアマミテンナンショウ-スダジイ群集、それら以外にシイ-カシ萌芽林、リュウキュウマツ群落 	<ul style="list-style-type: none"> ・アマミテンナンショウ-スダジイ群集、リュウキュウマツ群落、畑地雑草群落が混在

徳之島に所在する国有林の自然特性等について(2 / 3)

区 分	天城町	徳之島町	伊仙町
特定植物群落	・丹朧山のオキナワウラジログシ林(原生的な天然林) ・井之川岳の山頂植生(学術上重要な植物群落)	・井之川岳の山頂植生(学術上重要な植物群落)	
国有林周辺の 所有形態	・農地等が隣接	・個人有林等が隣接	・農地等が隣接
主な希少植物 種の生育状況	・天城岳、三方通岳、大城山、馬鞍岳周辺の国有林では、スプタ、リュウキュウハナイカダ等数種の生育を確認 ・井之川岳、剥岳、丹朧山、犬田布山周辺の国有林では、アカハダコバンノキ、スプタの生育を確認。このほか、丹朧山周辺ではマツバランの、井之川岳、剥岳と連なる稜線付近や犬田布山周辺ではトクノシマカンアオイの、それぞれ生育を確認 ・秋利神川中流域及びその支流周辺の国有林では、アカハダコバンノキ、スプタ等数種の生育を確認	・天城岳、三方通岳周辺の国有林では、スプタ等数種の生育を確認。このほか、天城岳からのびる稜線左斜面では、タニムラカンアオイ、シマウリカエデ等数種の、天城岳からのびる稜線右斜面では、アマミテンナンショウ、シコウラン、リュウキュウハナイカダ等約10種の、それぞれ生育を確認 ・井之川岳周辺の国有林では、スプタ等数種の生育を確認。このほか、井之川岳東斜面では、アマミテンナンショウ、シコウラン、リュウキュウハナイカダ、トクノシマカンアオイ等10数種の生育を確認	・犬田布岳、面縄、検福(けんぶく)周辺の国有林では、アカハダコバンノキ、スプタの生育を確認
主な希少動物 種の生息状況	・天城岳、三方通岳、大城山、馬鞍岳周辺の国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中4種(アマミノクロウサギ、イボイモリ等)の生息を確認。このほか、ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバトの生息を確認 ・井之川岳、剥岳、丹朧山、犬田布山周辺の国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中4種(アマミノクロウサギ、イボイモリ等)の生息を確認。このほか、ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバトの生息を確認するとともに、丹朧山西斜面ではアマミハナサキガエルの生息を確認 ・美名田山周辺の国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中3種(アマミトゲネズミ、アマミヤマシギ、イボイモリ)の生息を確認。このほか、ケナガネズミ、カラスバトの生息を確認 ・上記国有林を除く、秋利神川中流域及びその支流周辺の国有林では、アカヒゲ、カラスバトの生息を確認	・天城岳、三方通岳周辺の国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中4種(アマミノクロウサギ、イボイモリ等)の生息を確認。このほか、ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバトの生息を確認 ・井之川岳周辺の国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中4種(アマミノクロウサギ、イボイモリ等)の生息を確認。このほか、ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバトの生息を確認	・犬田布岳周辺の国有林では、奄美群島重要生態系地域調査において指標動物9種中2種(アマミヤマシギ、イボイモリ)の生息を確認。このほか、犬田布獄周辺の国有林ではケナガネズミを、犬田布獄、面縄、検福周辺の国有林では、アカヒゲ、カラスバトの生息を確認
マングースの 生息分布	未生息	未生息	未生息
ノヤギの生息 分布	未生息	未生息	未生息
マツ枯れの被 害分布	国有林には未発生(昨年まで徳之島ではマツ枯れ被害は報告されていなかった。平成22年7月、国有林に隣接する民有林でマツ枯れ木10数本を現地確認)	国有林には未発生	国有林には未発生

【参考資料】徳之島に所在する国有林に生息・生育している希少動植物種について

区 分	天城町	徳之島町	伊仙町
希少植物種	<p>【指標植物】タニムラカンアオイ、トクノシマカンアオイ、ハツシマカンアオイ</p> <p>【その他】アカハダコバンノキ、シナヤブコウジラン、シマサルスベリ、スプタ、マツバラ、リュウキュウウマノスズクサ、リュウキュウハナイカダ</p>	<p>【指標植物】アマミテンナンショウ、タニムラカンアオイ、トクノシマカンアオイ、ハツシマカンアオイ</p> <p>【その他】アカバシユスラン、アカハダコバンノキ、アマミアオネカズラ、オオオサラン、オオシマウツギ、オオシマガマズミ、オオシマムラサキ、カシノキラン、クニガミシユスラン、クニナガシユスラン、シコウラン、シナヤブコウジラン、シマイヌザンショウ、シマウリカエデ、シマカナメモチ、スプタ、タカツルラン、チケイラン、トクサラン、トクシマエビネ、トクシマテンナンショウ、ヤエヤマネコノチチ、ヤクシマネツタイラン、リュウキュウウマノスズクサ、リュウキュウツルマサキ、リュウキュウハナイカダ</p>	<p>【指標植物】該当種なし</p> <p>【その他】アカハダコバンノキ、スプタ</p>
希少動物種	<p>【指標動物】アマミトゲネズミ、アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ、イボイモリ</p> <p>【その他】ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバト、アマミハナサキガエルが見られる</p>	<p>【指標動物】アマミトゲネズミ、アマミノクロウサギ、アマミヤマシギ、イボイモリ</p> <p>【その他】ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバト</p>	<p>【指標動物】アマミヤマシギ、イボイモリ</p> <p>【その他】ケナガネズミ、アカヒゲ、カラスバト</p>